

No.
162

令和6年3月号

鎌倉市長 松尾 崇の



月刊 温故知新 鎌倉

■ 松尾 崇(まつお たかし/50歳)の履歴 ■

昭和48年鎌倉市生まれ、西鎌倉幼稚園、西鎌倉小学校、鎌倉学園、日本大学、会社勤務を経て、鎌倉市議会議員・神奈川県議会議員を通算約8年間勤め、平成21年より鎌倉市長(現在4期目)。家族は、妻と3人の娘。趣味はジョギング、登山、お祭り、坐禅。座右の銘は『温故知新』

障害者二千人雇用事業の達成

鎌倉市では、障害のある方の自立、社会参加を支援するため、平成30年度から取り組んできました「障害者二千人雇用事業」において、このたび、目標としていた就労者数2,000人を達成しました。

当事業を開始する時点で、鎌倉市内における障害者就労者は1,411人でした。一方で、障害者手帳所持者のうち18歳以上65歳未満の方は2,696人いらっしゃいましたので、働きたくても何らかの理由で働けていない方が、可能な限り社会で活躍できるよう、障害者二千人雇用センターの開設や、市役所内のワークステーションの設置、デジタル就労支援センターKAMAKURAなどの運営を通じた多様な就労機会の提供などに取り組んできました。

引き続き、障害のある方の「働きたい」「働き続けたい」、企業の「雇用したい」「雇用し続けたい」をサポートして、鎌倉市が目指す『共生社会の実現』に向けて、さらに取り組んでまいります。

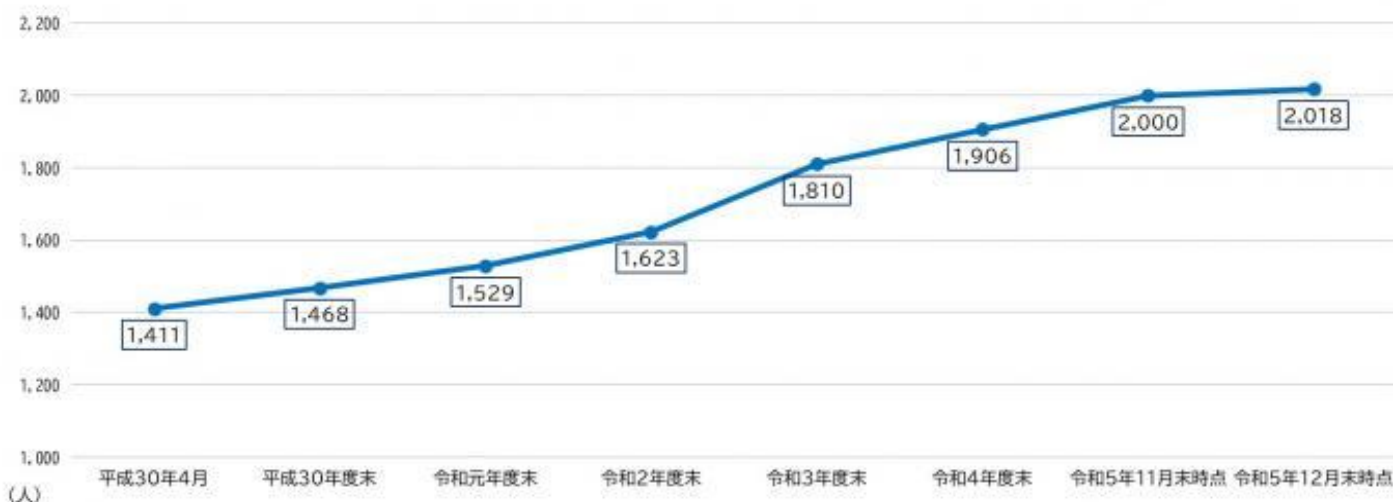
県内初の無償化を目指す理由

鎌倉市では障害のある子ども向け障害福祉サービスの利用者負担額を所得制限なしで**無償化する**事業を、令和6年度予算(案)に盛り込み、2月から3月にかけて市議会にて審議をしていただいております。

無償化の対象は、放課後等デイサービスや自宅にヘルパーを呼ぶ在宅介護、施設に短期入所するショートステイ、移動支援、日中の見守りなどです。

私は“障害のある子ども”という言葉は、**子どもの側に障害があるのではなく、社会の中に障害があり**、子どもたちが生きる上で、または活動をする中で、課題が生じていると考えています。ですので、その社会に存在する様々な障害を無くしていくことを目指しています。すぐにすべてを取り除くことは難しいので、ひとつひとつ取り組みを積み重ね、どのような環境にある子どもでも、その子らしく生き生きと暮らせる、そして夢を持ってそれを目指していける社会をつくっていきたいと思います。

障害者就労者数の推移



インクルーシブ遊具の設置

鎌倉市海浜公園の由比ガ浜地区に、インクルーシブ遊具を設置しました。これで充分とは思っていませんが、まずは一歩、今後もひとつひとつ、充実していければと考えております。

普段、車椅子を使っているお子さんも、そうでない子ども、こどもたちがそれぞれに楽しめるように、お互いに気を配り合いながら、譲り合いながら、楽しめる空間になれば良いと思います。



市役所移転の取り組みについて

令和6年度予算(案)に『新庁舎等基本設計及びDX支援業務』として約2億8700万円を計上しています。

基本設計を進めることで、新しい市役所の窓口やデジタルの活用など、市役所の形が大きく変わり、市民の利便性が高まること、新しい市役所が単なる手続きや相談の場ではなく、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方々の居場所や市民・行政等の交流・協働・共創の場となること、災害時の機能強化がどの様に行えるのかをお示しすることで、この事業全体の取り組みをご理解いただくことにつながると考えています。

市役所移転の取り組みに疑問をお持ちの方は、以下の2つの動画をご覧ください。ただけましたらありがたいです。

◆右上のQRコードは、『市役所が移転しなければならぬ理由』を、動画で説明しています。



◆右下のQRコードは、『市役所の現在の場所がどうなるのか！？』について説明しています。



第232回 大船クリーン大作戦

日時: 4月6日(土) 午前7時から8時

毎月第1土曜日に開催します。雨天中止です

集合場所: JR 大船駅東口 階段の下あたり

持ち物: 軍手やトング(なければお貸し致します)



◎お知らせ◎

◎この温故知新を捨てる際は『ミックスペーパー』へお願いします。

・『月刊・温故知新』(本紙)を10枚以上配布していただける方を募集しています。

⇒「やってあげても良いよ」という方、ぜひご連絡下さい!

・この『月刊・温故知新』を、お店の片隅やレジ横などに置かせて下さい!

◎定期購読をご希望の方は、無料で郵送しますのでご連絡ください。

◎発行: 松尾たかしを応援する会 連絡先: 鎌倉市台 2-15-3 電話: 43-6336

(討議資料)